子どもの視点に立ったまちづくりを！

2024年9月定例会

和光市議会議員

菅（すが）原（わら） 満（みつる） 議会報告

ご提言はこちらへ

〒351-0111　和光市下新倉3-14-21　Tel&Fax　048-462-8180

令和6年9月の定例会から

9月の定例会は、8月29日から9月25日まで開催され、報告2件、一般会計、特別会計、上下水道事業会計の令和5年度決算などの議案32件、陳情1件が審査されました。

【議会の議決を経ずに行った財産の取得について追認を求める議案】　賛成少数で否決

議案73号から議案81号までの9件は、**令和6年度及び過年度に議会の契約を経ないで契約したものについて、追認を求める議案**でした。定例会審査と全員協議会での説明によれば、全国的に同様の事例が判明しており、和光市では、他自治体から問い合わせを受け小・中学校の教師用指導書の購入実績を確認し議決を経ておらず、その後、保存されているデータから平成11年度以降の精査を行い、5件が小学校教師用指導書、2件が総合体育館用備品購入、総合福祉会館用備品と小学校給食室厨房用備品の7件でも議決を経ていませんでした。

執行部からは、「管理職員を含め、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又処分の内容の徹底。」、「教師用指導書の購入に関するマニュアルの作成、随意契約のチェック体制の確認を行っていく。」、「チェックシートを作成、財産の取得基準について複数人での確認。」がということが示されました。

なお、私の属する会派（2名）としては、議員として予算、決算を含めた審査においてチェックを尽くすことの必要性を認識、執行部の予算や事務執行について、適正適切に行われることの確認を行っていくことが大切と考えるとともに、契約が無効状態であることの是正をする必要があると鑑み、追認議案には賛成をしました。

【※なお、市では、否決後の対応について、埼玉県等の法的な見解を問い合わせており、法的見解を踏まえ対応を図っていくとしています。（令和6年11月20日付けの市長から議長への報告より。）】

◇◇◇　令和5年度の決算より　◇◇◇

（単位　万円）

基金名	積立額	補正後現在高
財政調整	177,071	257,133
学校教育施設整備	5,000	127,627
公共施設整備	5,000	18,449
都市基盤整備	10,000	28,836
まちづくり	12,179	14,584

※千円以下四捨五入しています。

一般会計の収入済額364億3,248万円、支出済額338億5,437万円となり、25億7,811万円の差引額となりました。この差引額のうち、1億4,915万円が翌年度に繰り越すべき財源というもので、実質の差引額は24億2,896万円となります。この24億2,896円のうち、将来への備えとして、補正予算で表のように積立を行いました。

収入済のうち約3割程度（約114億円）が国県からの負担割合に応じた財源や国全体の税収に応じた交付金などです。

今後、朝霞市との広域でのごみ処理施設整備、朝霞地区四市での火葬場整備、北インター東部土地区画整理事業、学校施設の改築整備などの大規模事業、また、GIGAスクールの機器の更新、学校施設の改修といった教育、子育て、介護、防災・減災などへの備え、そして、市内の開発状況などの状況を踏まえるとともに、福祉や子育てでの国や県との負担割合といった国の税財政運営、さらには、社会経済情勢といったことも考慮して財政運営を行っていくことが重要だと考えます。

＝定例会での一般質問から＝

犯罪被害者支援に向けた条例の制定を…

⇒　来年３月定例会での議案上程に向けて準備を進めている

質　問　近隣自治体の犯罪被害者支援に関する条例に基づく具体的取組について伺います。

危機管理監　朝霞市、新座市及び志木市では、相談及び情報の提供等、見舞金支給のほか、市民向けの情報提供と啓発活動及び支援人材の育成となっており、３市で同一の規定が置かれています。

質　問　このような具体的な内容を含む条例化が必要ではないか。想定している内容について伺います。

危機管理監　条例を制定している54市町村のうち見舞金支給制度を規定していないのは４市町で、90％以上の市町村が見舞金支給制度を規定しています。支給要件、金額及び支給方法等についての検討はこれからになりますが、当市においても見舞金の支給に関する事項を規定する予定です。

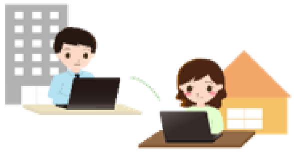
質　問　福祉、教育委員会といった所管との協議、検討も必要と考えるが伺います。

危機管理監　来年３月の定例会での議案上程に向けて既に準備を進めているところです。関係機関等との意見交換と併せて庁内各部署との協議を行い、支援における教育、福祉との連携については十分意を用いてまいりたいと考えています。

☆☆

ＤＸ（デジタルトランスフォーメーション）、保育所入所関連の手続電子化を…

⇒　市民の利便性向上、業務効率化に向けた取組を行っていきたい



質　問　デジタルトランスフォーメーションでの所管課、ワーキングチームでの調整や取組の現状について伺います。

総務部長　電子申請については、各課において個別に手続を追加しており、LINE 申請では、デジタル推進課でフォームを作成しており、各課と調整を図りながら手続を追加しています。ワーキングチームからはオンライン申請の拡充についての提案を受けていますので、効果的な手続を検討し、市民の利便性の向上、業務効率化に向けた取組を行っていきたいと考えています。

質　問　市民の利便性向上ということから、保育所入所関係の手続きの電子化を進めていく必要があるのではないか伺います。

子どもあんしん部長　保育所等を利用するためには就労等の事由による保育の必要性の認定を受ける必要があるなど、市の窓口での申請が多くあるため、申請手続きの電子化は利便性の向上につながると考えます。

入所申請手続の電子化は、保育の必要性の事由ごとに申請に必要な書類が複数あることや申請データの整理、また、保存方法等について課題はありますが、今後、先進自治体の事例を研究し、電子申請の導入について前向きに検討していきたいと考えています。

すがわら満のプロフィール

◆和光市議会　予算決算常任委員会委員長・文教厚生常任委員会委員・議会運営委員会委員
◇和光市都市計画審議会委員／◇（公益財団法人）富士社会教育センター客員研究員

☆☆☆不審な電話には出ない・電話録音をする！・フィッシングメールなどに注意をしましょう!!☆☆☆